

kancolle DOJIN  
fanbook R18  
成人向  
keizyun-yo-kan  
(zintu-)

神通藍情

keizyun-yo-kan

penpen-gusa  
club presents





## 前作『神通艶情』あらすじ。



とある鎮守府に研修着任した若き士官候補生・御衣木(みそぎ)。着任早々海戦で大破した軽巡洋艦『神通』と出会う。提督不在の中提督代理を務める旗艦『瑞鶴』に鎮守府についての説明を聞くもさっきみた神通のことが気になって仕方ない。女の子として大怪我してるのが心配という御衣木に

「そんなに神通の事が心配なら怪我のお世話でもしてみる？」

と相談を持ちかける。

御衣木は神通の怪我の世話をするなか今まで女性に接する機会が無かったためか怪我の世話をするためとはいえ神通の柔肌を見るたび体が反応してしまう。それを神通に見透かされ

「貴方は私の世話をするように言われてるのでしょうか？」  
「なら私の言う事を聞きなさい」

と言われ一線を超えてしまう。それからは神通の求めに応じてセックス漬けの日々。体の不調を押してまでセックスを強要する神通に艦娘としての業の深さを見た御衣木は彼女のために艦娘の為に立派な提督になる決意を改にする。

ところが研修半ばでありながら学校に還されてしまう。神通に別れも告げぬまま…。



数年後、提督となった御衣木は神通の前に現れる。

「俺の下に来い」と

それに対する神通の答えは…。



## 『神通嬌情』あらすじ。

提督となって神通の前に現れた御衣木(みそぎ)。神通を自分の鎮守府に引き抜きたいという申し出に話題をすり替えて断ってしまう。神通の意外な反応に戸惑う御衣木。神通の本心が見えない御衣木は暫くこの鎮守府に留まることにした。

一方、神通はといえば突然目の前に現れた御衣木に激しく動揺する。体の関係を結んでしまったとはいえ数週間、一ヶ月も居なかった彼に「立派な提督になる」という約束を果たしたのだから自分の下に来いと言われても素直に信じる事が出来ず何か他に意図があるのではないかと勘ぐってしまう。

断ったにも関わらず鎮守府に留まっている御衣木にますます不気味さを募らせる神通。彼と顔を合わせないように行動するも同じ鎮守府内の事、他の艦娘たちから色んな噂が入ってくる。そのたびに彼と体の関係を結んだときのことを思い出し自慰に耽ってしまうようになる。溜まった鬱憤を晴らすため御衣木に夜這いをかけて感情を爆発する。

御衣木はそんな神通を受け入れ詫びる。「俺はただ神通にまた逢いたくて提督になったんだ」と。決して神通を怖がらせたりどうこうしたりするつもりはないと。御衣木の本心を知り自らを恥じる神通。

「たとえ戦いで傷ついて斃れても強くて美しい神通が俺は大好きなんだ」と。そんな御衣木の言葉に心の底から泣き嗚咽を漏らす。



鎮守府逗留の最終日。皆と共に御衣木を見送っていた神通。そんな神通に鎮守府の皆がいる前で

「俺は何時迄も神通を待ってる」

と言い放ち、歓声と混乱と神通の肝を冷やして御衣木提督は去っていった





## 『神通潤情』あらすじ。



一作目『神通艶情』の神通サイドを描いた話。  
大怪我を負った神通は戦うことの出来ない自分に絶望し仲間が神通を気遣うことが難しいくらいに落ちこんでいた。  
そこに提督のイトコだという士官候補生の少年が世話役として神通の怪我の世話をすることになる。

御衣木少年は甲斐甲斐しく神通の世話をし艦娘への尊敬と憧れもあって同情などではなく純真で誠実な態度で神通に接する。

一方神通は戦うことの出来ない鬱積から御衣木少年の純粹さを疎ましく思い自分に対する想いを利用して御衣木少年と一線を超えて肉体関係になる。それからは御衣木少年とのセックスに耽るようになる。戦いの代わりになる肉体の喜びを得た神通だったがそんな状況ですら自分をいたわる少年を置いてはいけないと思い元の士官学校に返してしまった。

あくまで神通が求めていたのは自分と共に堕ちてくれる相手だったから……



あれから数年後  
提督となった御衣木が  
神通の前に現れる。

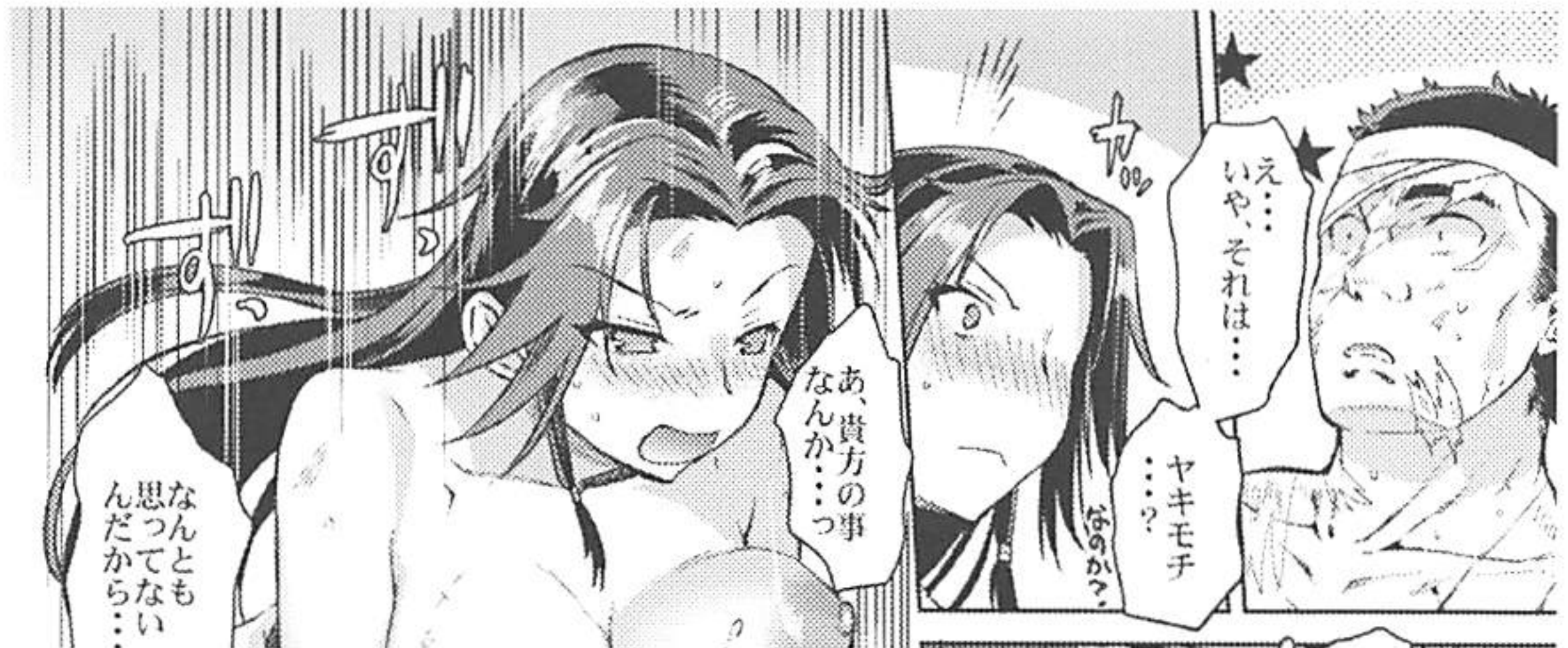
御衣木の意図が分からない  
神通は彼に畏れを  
抱くのだが……





御衣木の部隊と合同作戦を行う事になった。  
神通は御衣木の連れてきている艦娘の中に自分と同じ『神通』の姿を見つける。  
御衣木が誰を連れていようが自分には関係のないことではあるが心のなかにモヤモヤとしたものが残る神通。  
そんな気持ちのまま作戦に望み、傷ついた御衣木を助けるため運悪く二人ではぐれ無人島で二人きりになる。

状況の成せる業かいつもなら抑えている感情を露わにしてしまう神通。  
「貴方は『神通』ならだれでもいいのか」と。彼女は秘書官として優秀だから務めてもらっている、という御衣木の言葉を信じず怒りに任せて体を重ねてしまう。



後に助けられて帰還した後、御衣木は性的に不能だと耳にする。  
その時になって彼の本当の心を知りそして迷う。  
「私は一体どうしたらいいの…？」と



# 神通藍情

作・カタセシミンナミ

神通！

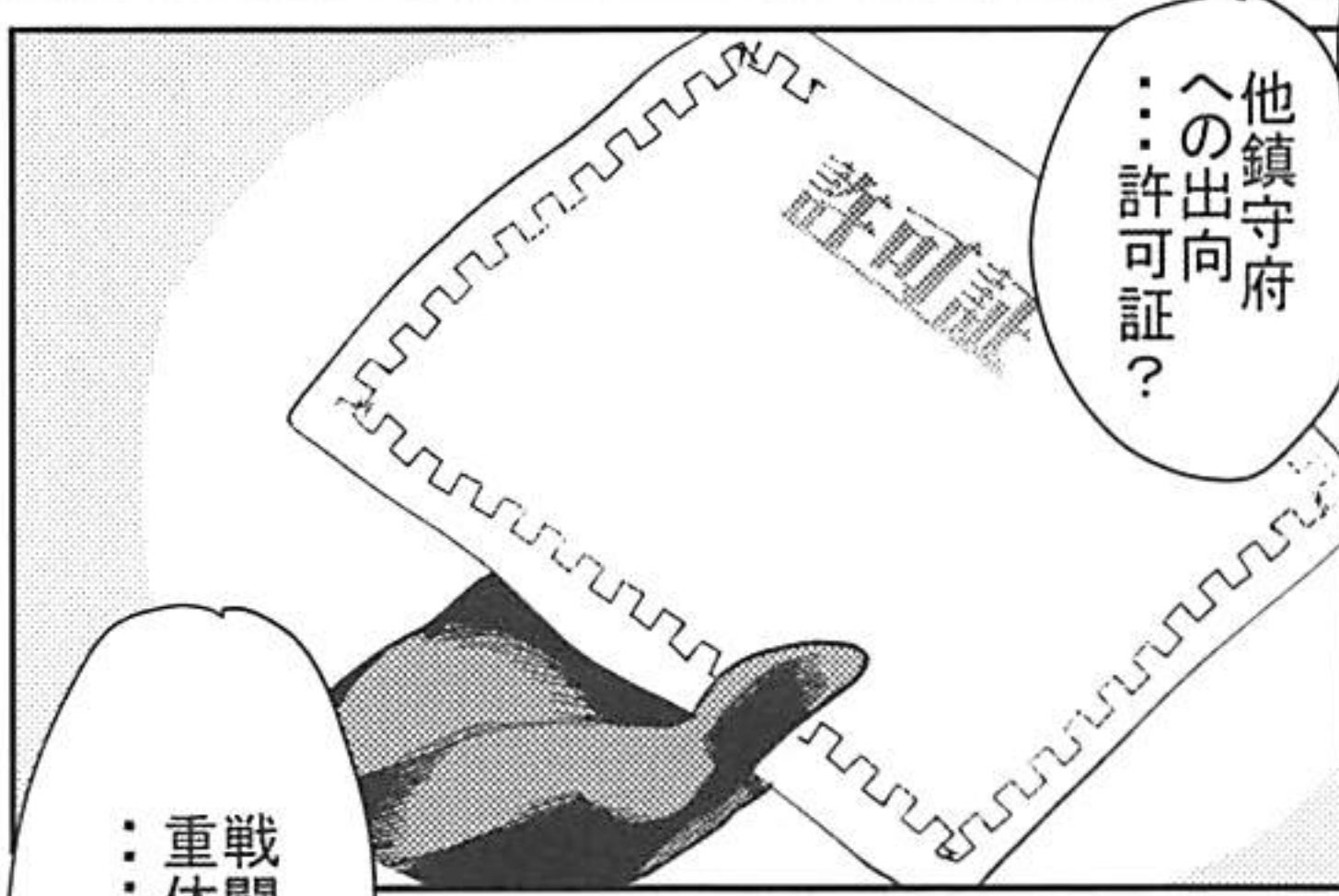




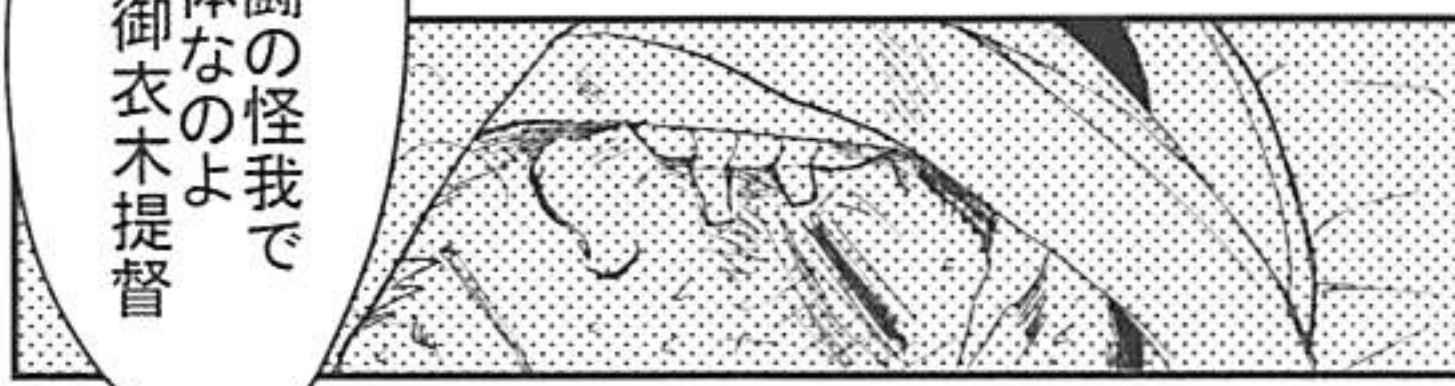


丁度貴女を  
探していたのよ  
はい、コレ!

瑞鶴?



他鎮守府  
への出向  
……許可証?



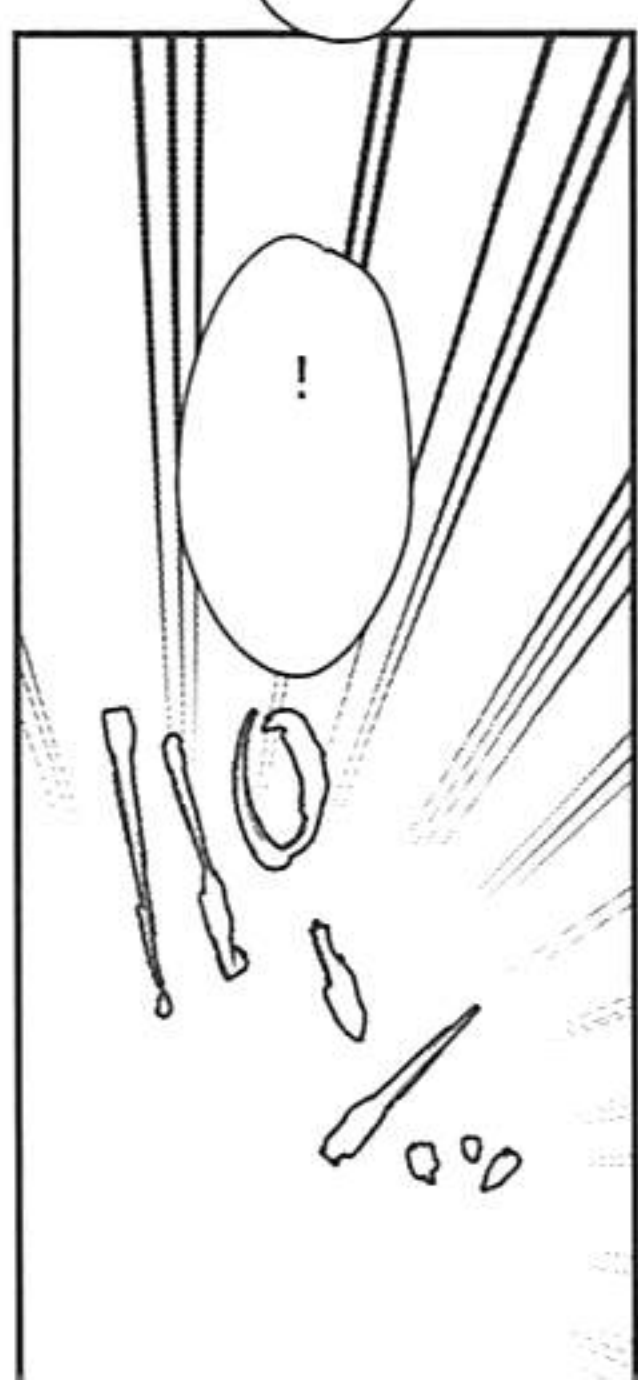
戦闘の怪我で  
重体なのよ  
……御衣木提督



必要あり  
ません

だって  
神通……っ

そういうのを



!

余計なお節介  
つて言うんですよ  
旗艦瑞鶴







神通っ

ちよ……アンタ

アレ  
止めんで  
ええの？



あれは川内ちゃん  
お姉ちゃんの  
お仕事だから

ええ……

素直じゃ  
ないからね  
神通ちゃん

ほなら  
アンタは

私のお仕事は  
見守る事でーす

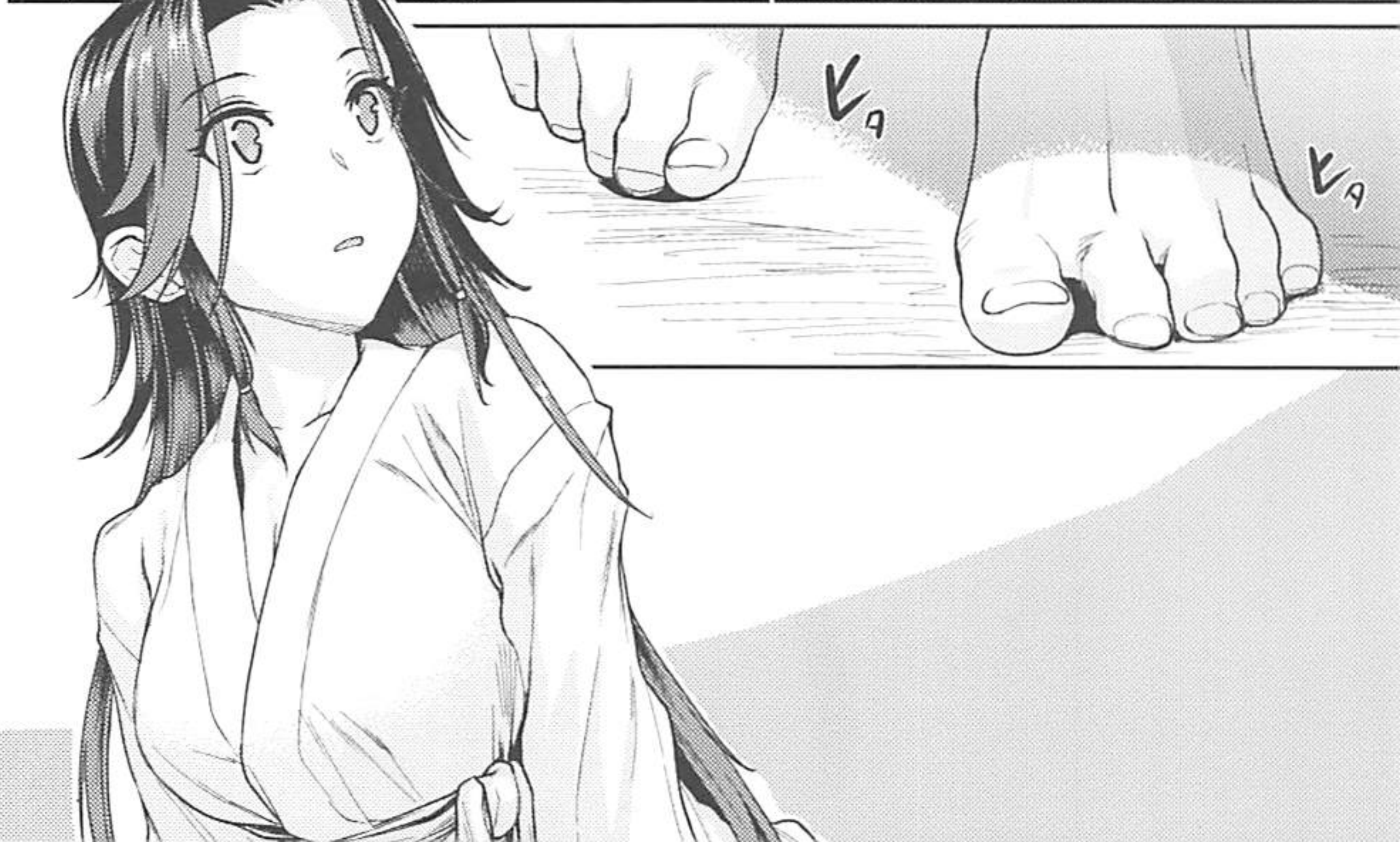
さよけー







瑞鶴さんと  
神通さんが  
揉めてたつて  
何でも以前  
ここに来た  
あの...





…神通さんに  
告白したあの  
提督さんの事で

なんでも  
意識不明  
らしいよ？

…は…

…っあれ  
神通？

あ…あなた  
その姿は一体…

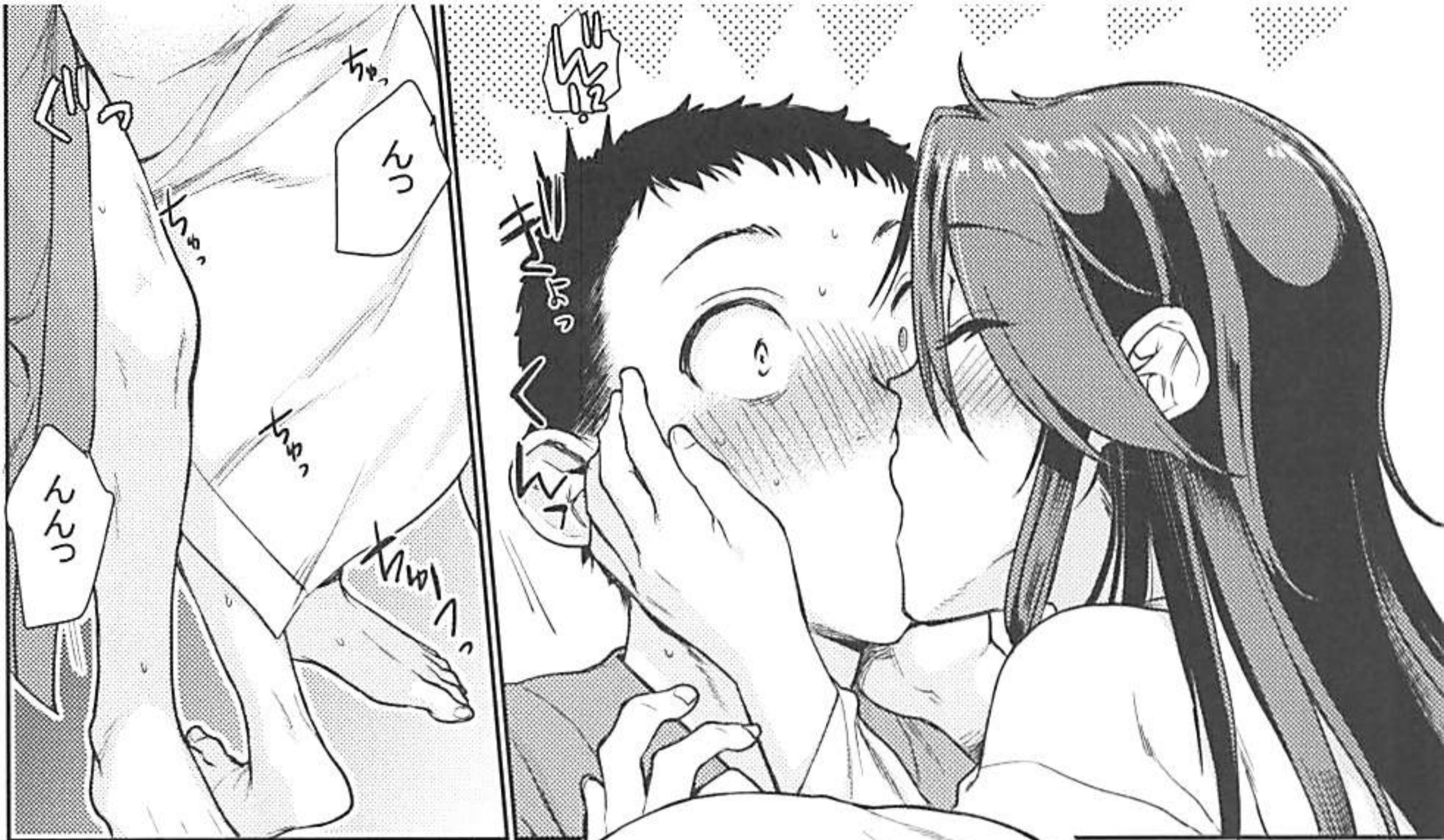
…そっか  
死んじゃった  
のか俺…

あー…

神っ!?











はっはっ

はっ

はっ

はっ

ははあっ  
はっ!



どき

どき

どき

どき

ハッ

ハッ

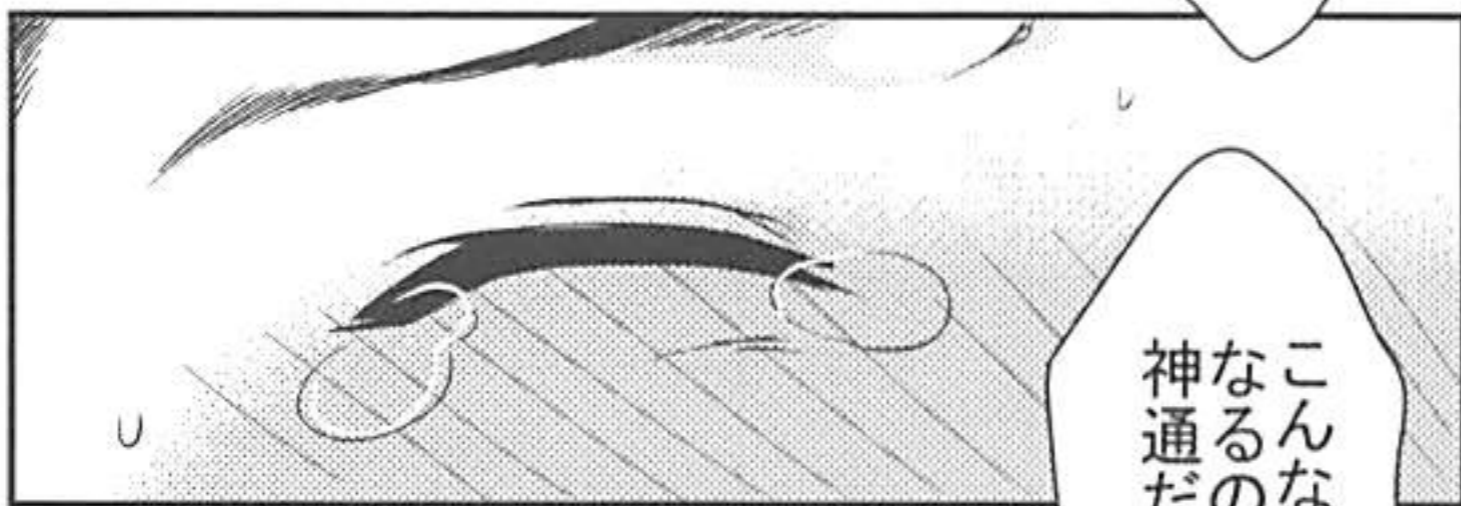
じんっっ...



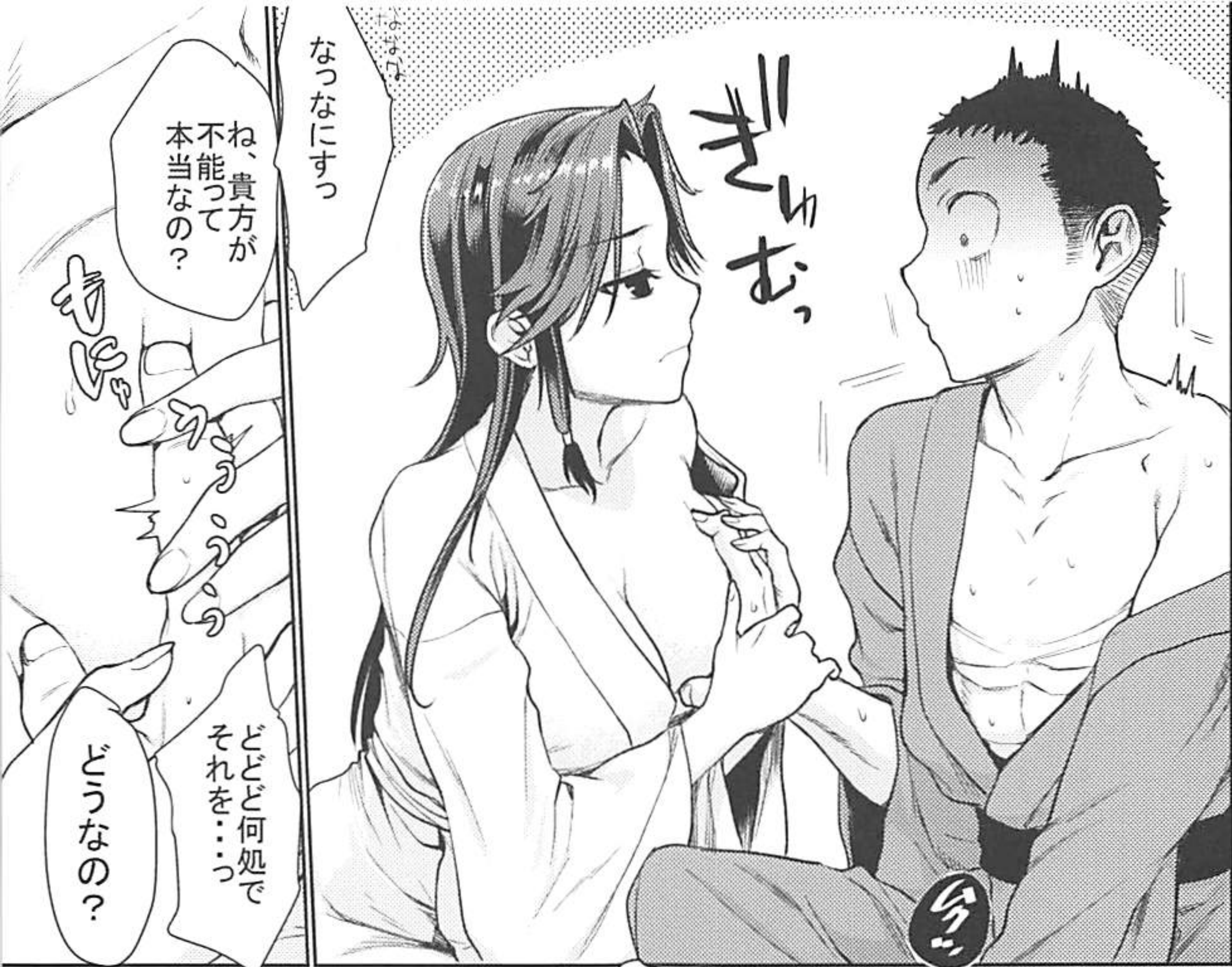
んんん

!









ね、貴方が  
不能って  
本当なの？

なっなにすっ

きんきん  
むっ

むっ

どどど何処で  
それを……っ

どうなの？



最初は  
気のせいだと  
思ってたんだ

疲れてるだけ  
なんだって

でも先輩に  
花街に連れて  
行かれても  
何も感じないし

…



そのうち  
気付いたんだ

神通の事を  
思い出して……っ

その時だけ  
勃っ……っ  
シコっ……っ

きんきん

きんきん

きんきん



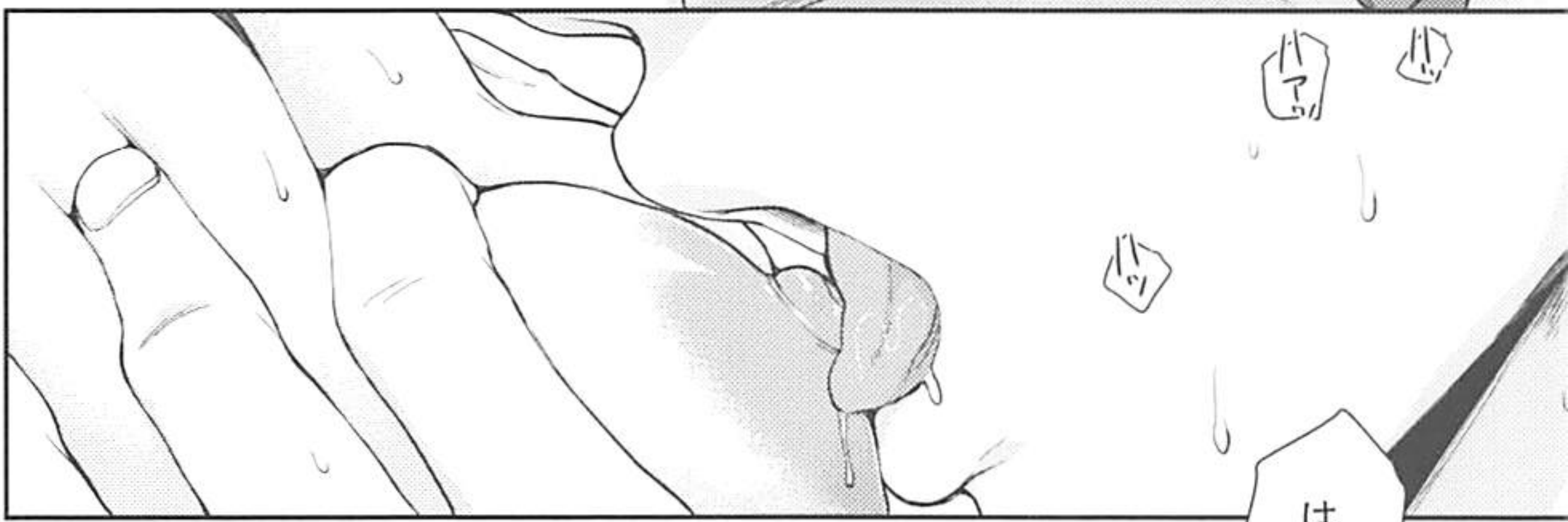


おっぱい  
好きにして  
くれていいから

おっぱい  
いい



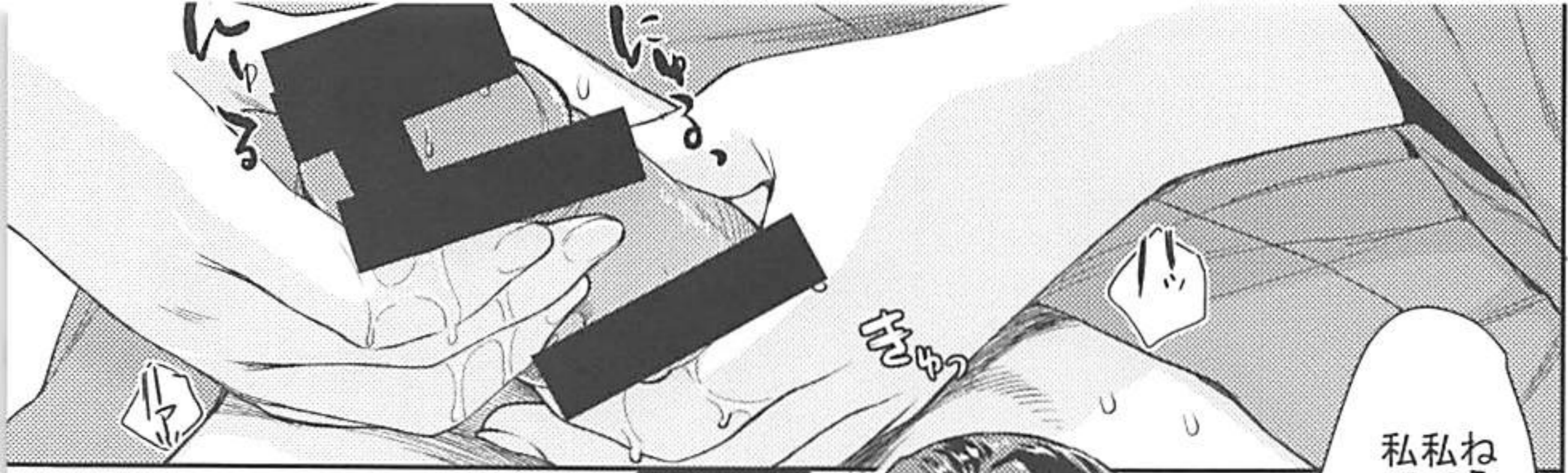
うれしい...



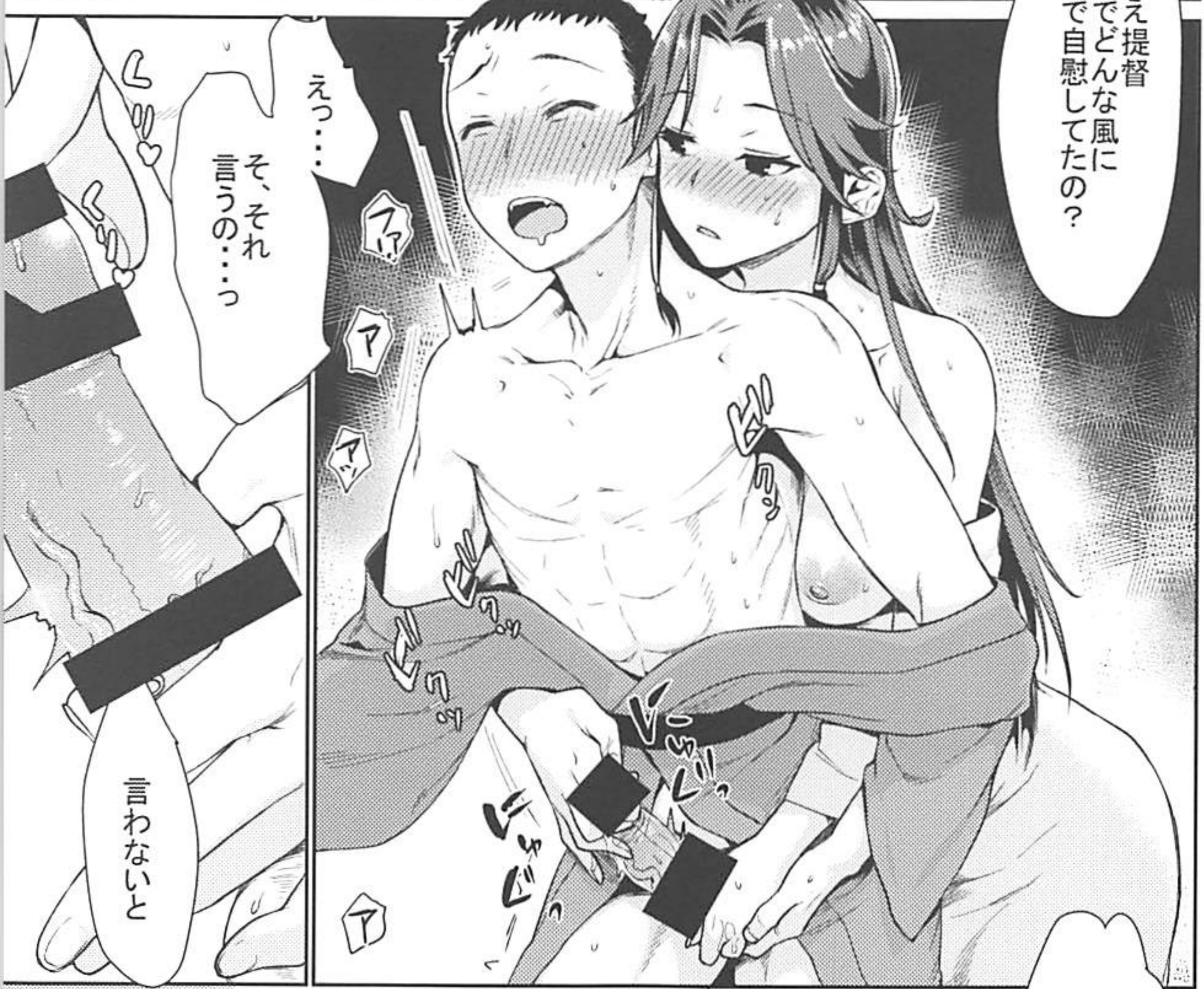
はあっ  
あっ

はあっ





ねえ提督  
私でどんな風に  
私で自慰してたの？



えっ...  
そ、それ  
言っの...っ

言わないと



止めちゃ  
おうかな

神通の  
いじわる

...っ

アア



同期で女優の  
グラビア持ってる  
奴がいてっ

皆でカーディガン  
が良いだとか

西洋のハイカラな  
ストッキングが  
良いだとか  
言うの聞いてて

神通でっ  
想像してたっ

良くできました  
変態提督さん

神通が  
言えっつてっ

お

お

お

ほっ

ん

ん





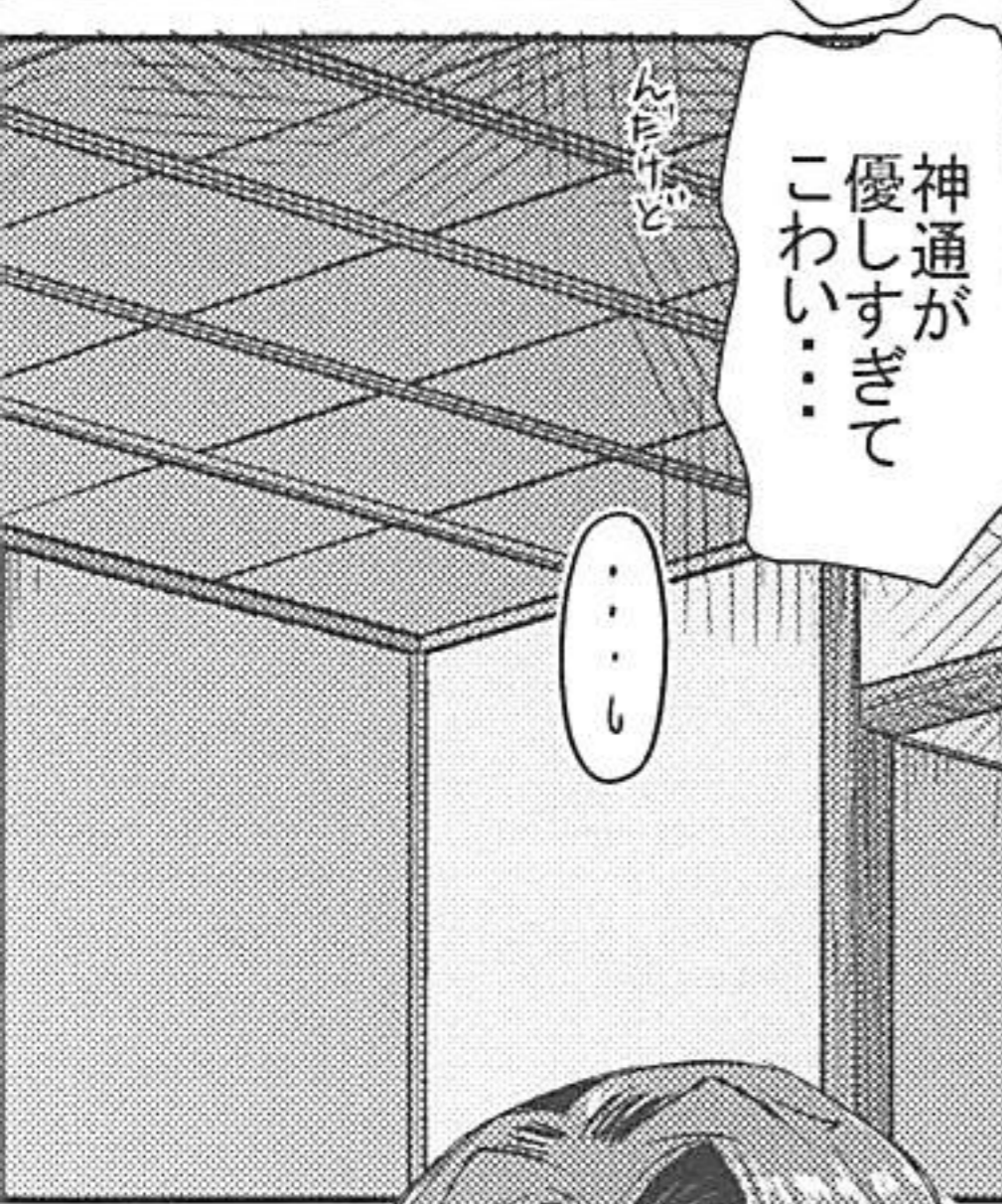








大丈夫だから  
ゆっくりしよ？  
ね？



神通が  
優しすぎて  
こわい...



今までの  
分も含めて

んんん...

だから

貴方の  
事が好き



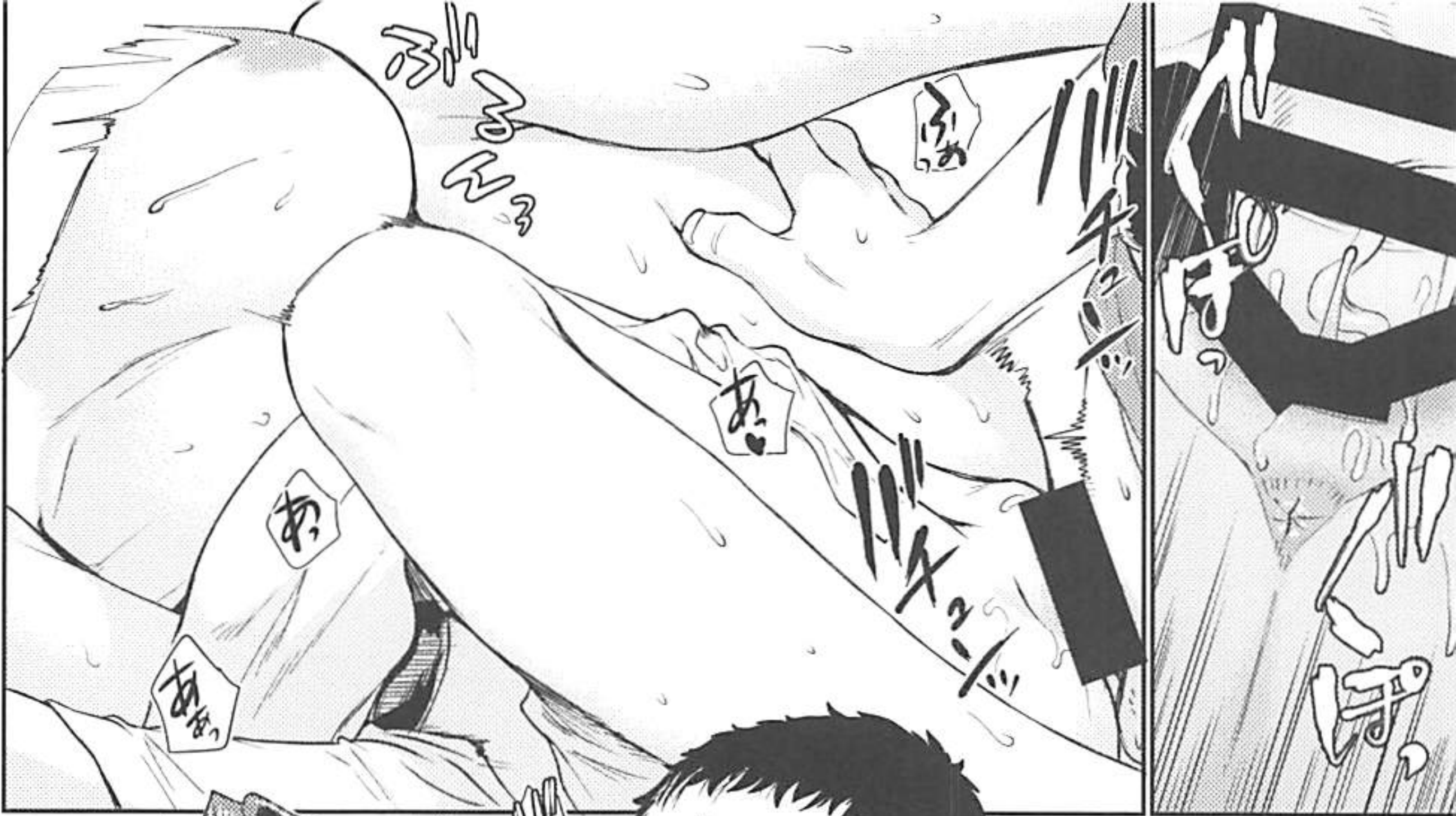
私...ね  
自分の気持ち  
が  
やっと分かったの

えっ...？

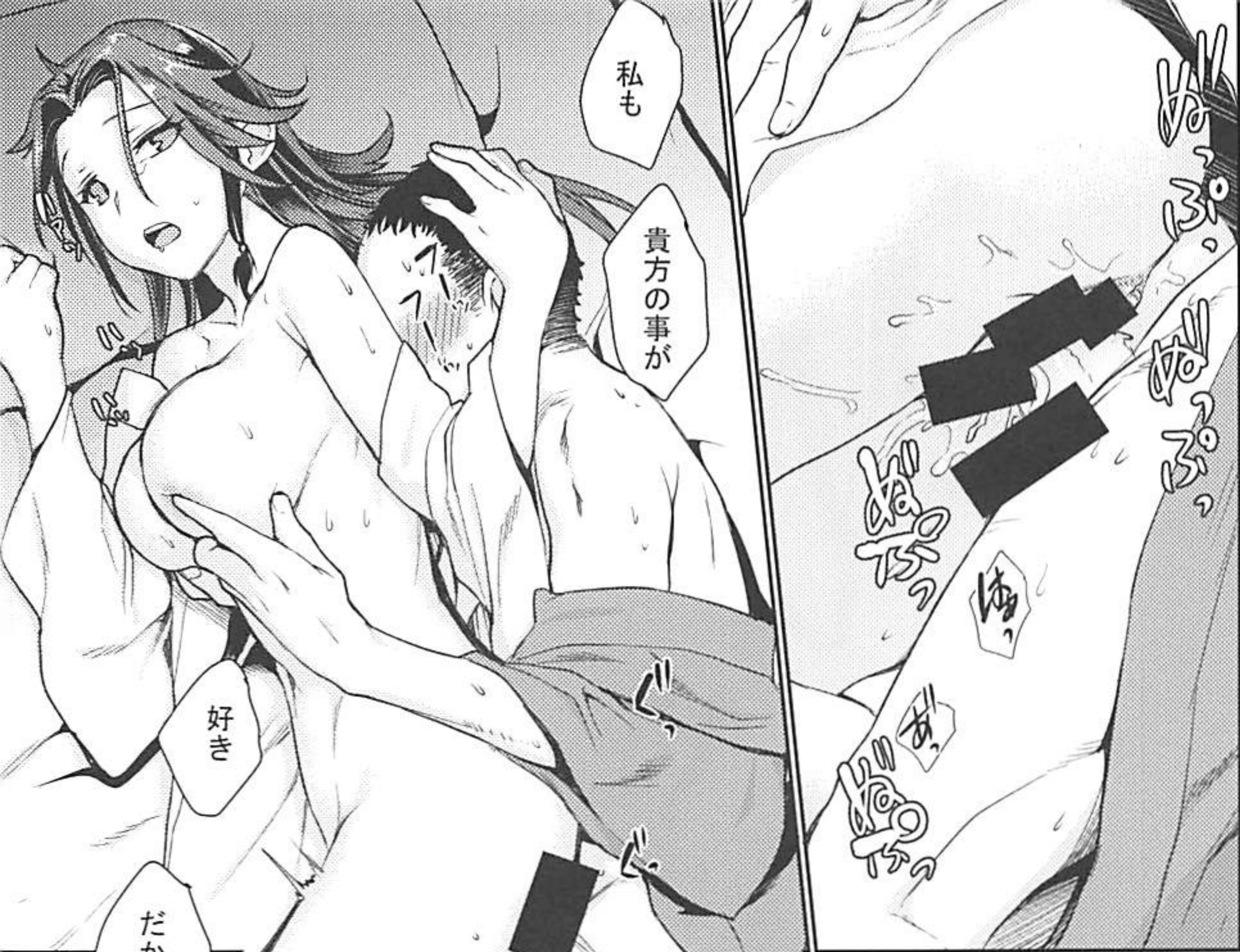
貴方の事が  
好きだって

...!









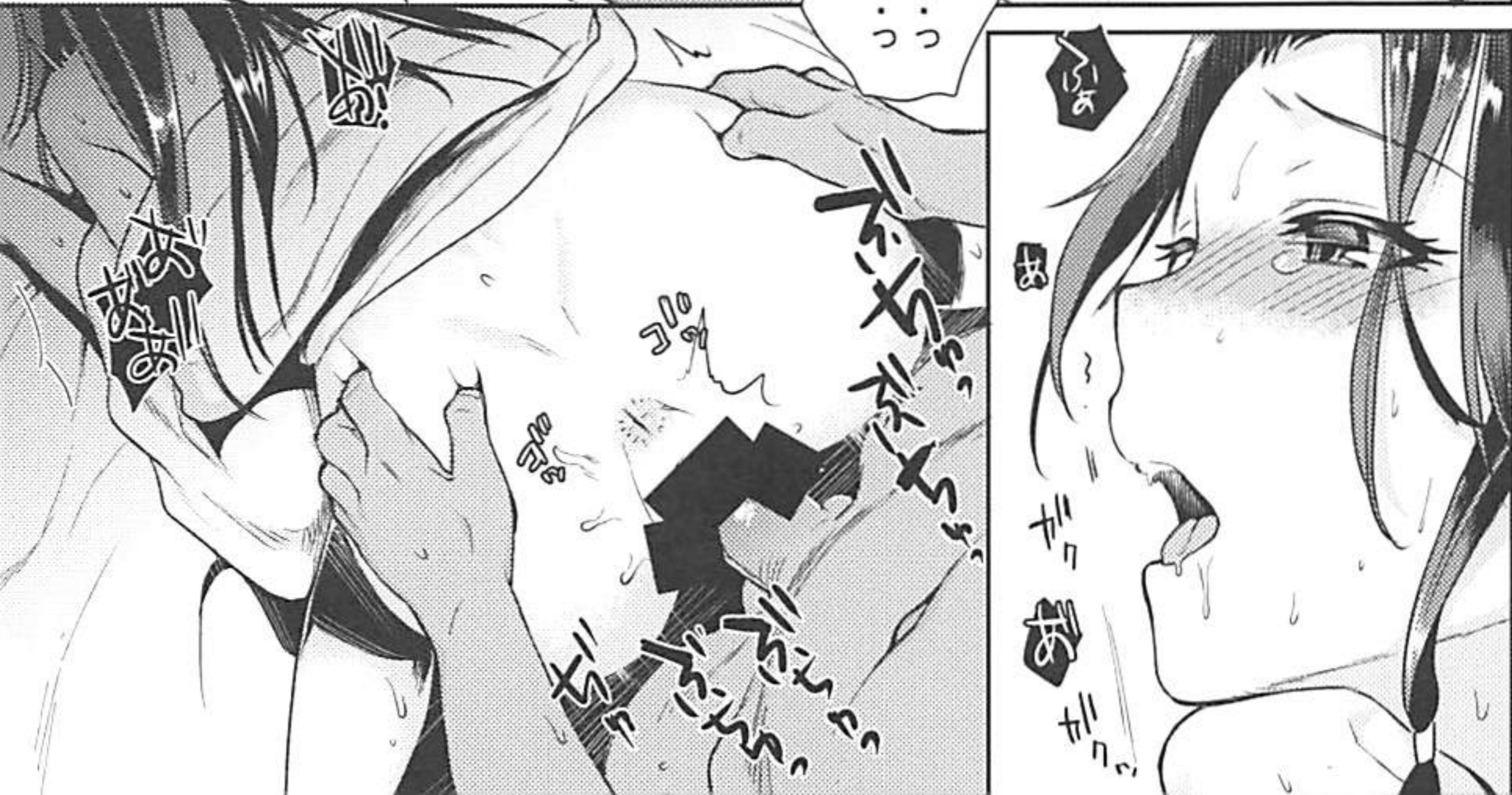
私も

貴方の事が

好き

だから……っ

もっと……っ  
欲しい……っ











わんわん

あーっ  
あーっ  
あーっ

あーっ  
あーっ

あーっ  
あーっ

あーっ  
あーっ

あーっ  
あーっ  
あーっ

あーっ  
あーっ

あーっ  
あーっ









あの時は  
本当に  
驚きました





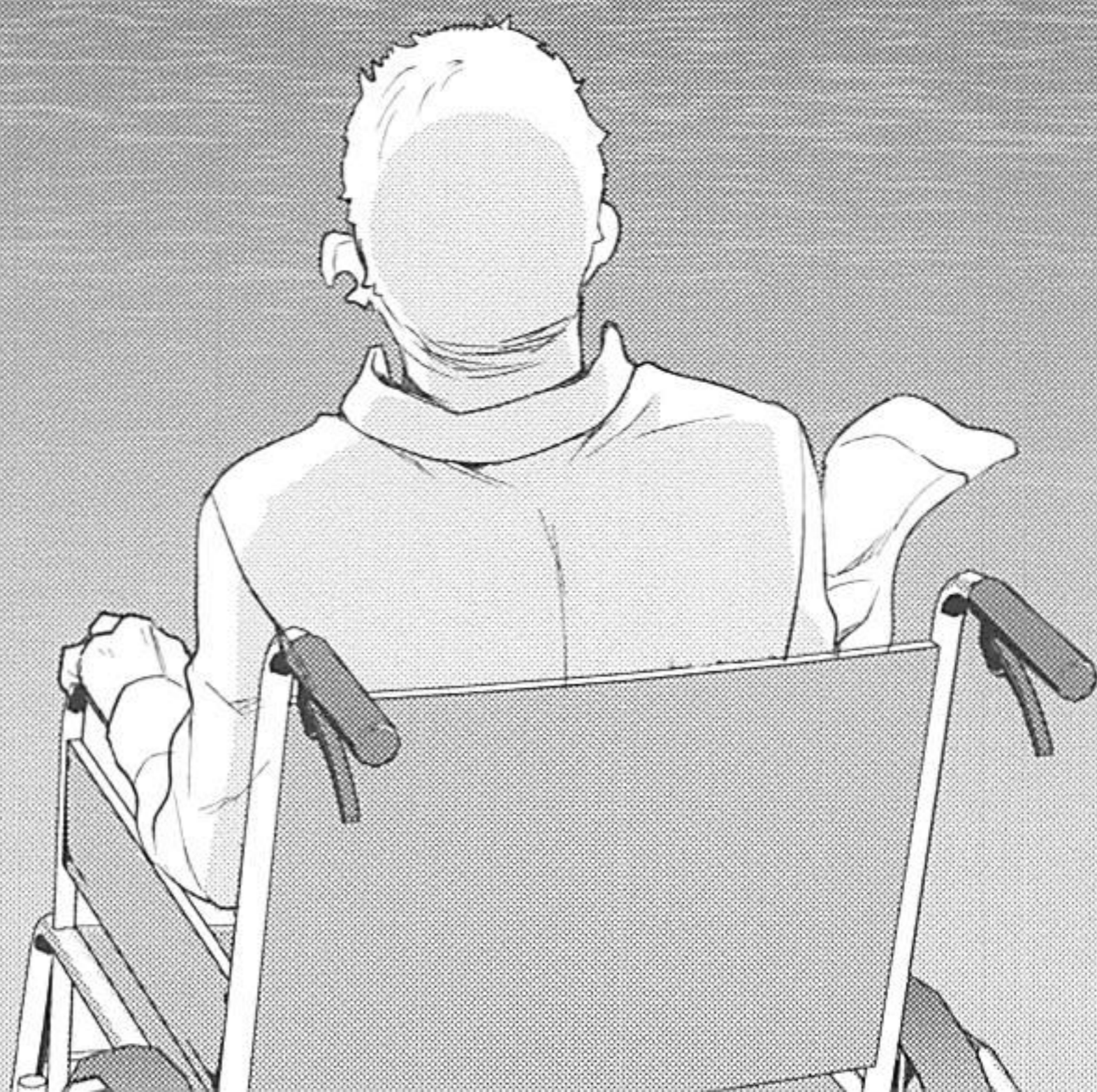


幾千の棲艦との戦いと  
艦娘達と戦い抜いた御衣木は  
自らの身体を傷付けながらも  
退官まで勤め上げた

私が貴方と  
一緒に居たいんです

神通も退艦まで  
己の任務を忠実に  
遂行し続け任を  
退いたのら  
御衣木の元へ

最後の瞬間まで  
一緒だったという





奥付

発行日 2017.12.31

発行 ペンペン草くらぶ  
(カタセミナミ)

印刷所 大陽出版さま

連絡先 katase\_minami@hotmail.com



